

Syllabus Id	syl.-120-004
Subject Id	sub.-120-105755
更新履歴	1200330新規
授業科目名	工業外国語 I (Technical English I)
担当教員名	山中 仁, 手塚 重久 Hitoshi Yamanaka, Shigehisa Tezuka
対象クラス	機械工学科5年生
単位数	1履修単位
必修/選択	選択
開講時期	前期
授業区分	
授業形態	演習
実施場所	機械工学科M5HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

近年、企業活動の国際化によって、英語文書の読解・作成能力が技術者に求められている。また、技術者が海外で業務を行った際、海外の技術者と共同で業務を行うことも多くなってきているので、国際語としての英語によるコミュニケーション能力を身に付けることが求められている。

この授業では、TOEIC試験の模擬試験により英語能力の総合的な実力を把握し重点的に学習が必要な分野を認識させる。また英語によるテクニカルライティングのテキストを題材として取り上げて和訳することで、英文の読解能力や表現能力を向上させ、技術者として必要な英語力を向上させることを目標としている。また継続的な自学自習の方法を習得するために各自の授業の予習への取り組みを成績評価に取り入れる。

準備学習(この授業を受講するときの前提となる知識)

英文法基礎、英文解釈基礎

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D.コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力			

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. TOEIC試験の内容を理解し、試験で要求されている内容を説明できる。
2. 基本的な英文法を理解し、正しい英文を完成できる。(リーディング能力Ⅰ)
3. 英語による文章を読み、内容を的確に判断できる。(リーディング能力Ⅱ)
4. テクニカルライティングの様式を守り、正しい技術英文を完成できる。(リーディング能力Ⅲ)
5. 語学力向上のための自学自習が継続できる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません)

回	日付	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	4/12	オリエンテーション	教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準等の説明。課題の進め方。	
第2回	4/19	TOEIC(1)	TOEIC試験の概要・模試(リスニング)	
第3回	4/26	TOEIC(2)	TOEIC試験模試(リーディング)	
第4回	5/10	テクニカルライティング(1)	テキストP3～P18	
第5回	5/17	テクニカルライティング(2)	テキストP19～P33	
第6回	5/24	テクニカルライティング(3)	テキストP34～P48	
第7回	5/31	テクニカルライティング(4)	テキストP49～P63	
第8回	6/14	テクニカルライティング(5)	テキストP64～P78	
第9回	6/21	テクニカルライティング(6)	テキストP79～P93	
第10回	6/28	テクニカルライティング(7)	テキストP94～P108	
第11回	7/5	テクニカルライティング(8)	テキストP109～P123	
第12回	7/12	テクニカルライティング(9)	テキストP124～P138	
第13回	7/19	テクニカルライティング(10)	テキストP139～P153	
第14回	7/26	テクニカルライティング(11)	テキストP154～最後	
—	—	期末試験	理解度テスト	×
第15回	9/20	まとめ	総括・授業アンケート	

課題

1. 提出物
「予習ノート」(毎講義毎に指示した書式による授業の予習ノートを作成し、担当教員の確認を受ける。)
2. 提出期限
授業当日の朝 8:50まで(第4回から第14回まで)

3. 提出場所: 統括責任教員

4. オフィスアワー: 月～金の放課後から17:00まで。

評価方法と基準

評価方法:

- (1) 授業目標1.については、試験(筆答試験)により評価する。
- (2) 授業目標2.～4.については、試験(筆答試験)および授業中の回答状況により評価する。
- (3) 授業目標5.については、各自の「予習ノート」により評価する。

評価基準:

授業目標1.についての試験10%、授業目標2.～4.についての達成度評価試験30%、授業目標5.についての学習の記録60%の割合で評価を行なう。理由なき提出期限遅延は1点/日の減点とする。また予習ノートの完成度が低い場合には再提出を指示することがある。

60点以上を合格とする。

教科書等	TOEIC奪取470&630, The Elements of Technical Writing (G.Blake&R.W.Bly, LONGMAN)
先修科目	総合英語A・文学特論
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	授業の目標や位置付けなどについてガイダンスにおいて十分に周知するとともに、学習意欲を引き出すように試みる。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。